

# 鈴張小の子どもたちの学力は

## 平成23年度「基礎・基本」定着状況調査の結果より

今年も広島県では、6月14日(火)に県内小学5年生と中学2年生の全員を対象に、一斉に「基礎基本定着状況調査」が実施されました。これは、国語と算数についての基礎・基本となる学力の定着状況を調べ、それぞれの学校の課題を明らかにしようとするものです。

対象は5年生ですが、学年を特定した見方をするのではなく、本校全体の学力の傾向を示す資料の一つであるとしてとらえています。過度に数値にとらわれることなく、ふだんの学校の状況と照らし合わせながら今回の結果を分析することに意味があります。**今回の結果を十分に分析し、私たち教職員が、一丸となって、さらに、家庭、地域の協力を得ながら子どもたちの学力向上、生きる力の育成に当たっていきたいと考えています。**

つきましては本校の定着状況の実態等について、皆様の一層のご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

### 『調査内容』

国語科・・・2～4年生の内容「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」

算数科・・・2～4年生の内容「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

生活と学習に関する意識調査・・・家庭や地域での過ごし方についての設問

## 1 国語

【基本的な漢字や語句を理解し、文章を正しくとらえる力を身に付け、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力や論理的に書いたり読んだりする力を身に付ける。】

### (1) 通過率

内容	平均 (%)	30%未満	80%以上
鈴張小	<b>71.9</b>	<b>5.0</b>	<b>50.0</b>
広島市	77.3	2.5	57.5
広島県	78.5	2.4	60.3

### (2) 定着状況

- 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して書くことができる。
- 物語文では、場面の移り変わりや情景を読み取ることができる。
- 文中の主語・述語の関係についてはよく理解できている。
- ▲ 話の要点について、大事なことを選び取って聞き取ることが十分でない。
- ▲ 詳しい内容について、自分の言葉で表現することが苦手な児童もいる。
- ▲ 説明文では、段落相互の関係を考えて読み取ることが苦手な児童もいる。
- ▲ 漢字のへん・つくりの構成やローマ字を書くことについての理解が不十分である。

### (3) 今後の取り組み

- ① 相手が理解しやすいように、要点や構成を考えて聞いたり話したりする活動に取り組む。
- ② 児童同士の学び合いを大切に、意見をつなげたり比べたりすることで、聴くこと・話すことについての意識を高める。
- ③ 漢字とローマ字の学習を複数回行い、定着を図る。

## 2 算数

【数量や図形などの基礎的な知識・技能を身に付け数学的な見方や考え方、論理的な思考ができるようになり、それらの知識、技能、見方や考え方を様々な場面で生かそうとする力をつける。】

(1) 通過率

内 容	平均 (%)	30%未満	80%以上
鈴張小	<b>65.6</b>	<b>15.0</b>	<b>40.0</b>
広島市	76.2	2.3	55.0
広島県	77.8	2.2	59.4

(2) 定着状況

- 四則計算はよくできている。
- かさの単位についてはよく理解している。
- 直方体の性質や長方形の定義についてよく理解している。
- 資料を分類整理する方法をよく理解している。
- 伴って変わる2つの数量の関係について理解することができている。
- ▲ 数の相対的な大きさの理解が不十分である。
- ▲ 角の測定についての理解が不十分である。
- ▲ 図形の作図方法についての理解が不十分である。
- ▲ ( ) を用いた式の計算がやや苦手である。

(3) 今後の取り組み

- ① 「図形」や「量と測定」では、具体物を活用し、実際に操作する学習や作図の学習を取り入れる。
- ② 児童同士の学び合いを大切にし、自分の考えを自分の言葉で表現する場を設ける。
- ③ 既習事項を繰り返し復習する。
- ④ 個に応じた指導方法を考え、取り組んでいく。

### 3 生活

(1) 肯定できる点

- 毎日朝食を食べている。100%
- 見たことや考えたことについてわかりやすく伝えるための順番を考えている。90%
- 物事を解決するとき、たぶんこうではないかと予想する。90%
- 学習を最後までやりとげてうれしく思ったことがある。100%
- 「力をつけたい」「わかりたい」から勉強している。95%
- 将来の夢や目標を持っている。またそれはかなうと思っている。90%
- 努力すればたいていのことはできると思う。95%

(2) 課題点

- 社会の出来事や事件に関心がある。60%
- 地域や子ども会の行事に積極的に参加している。35%
- 家庭学習の時間が1時間以上である。25%
- ふだん(月～金)1日4時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている。30%
- わかるまで努力している。70%
- 自分のよさが周りの人から認められていると思う。55%

(3) 今後の取り組み

- ① 学校行事や授業などで表現する機会を設け、自己表現する力を育てるとともに、思いを「書く」ことにより考えをまとめ、他者に伝えることができるようにする。
- ② 学校行事・委員会活動などで学校全体に関わる仕事をするを通して、人のために働くことができるという自己有用感を持たせる。
- ③ 家庭学習習慣の定着に向け、家庭の協力を仰ぐとともに、児童と話をする中で課題改善の取り組みを進める。
- ④ 読書をすることで使える言葉を増やし、表現力を養う。

### 基礎基本の定着を目指して

- 1. 「分からない」と言える授業の追求 ⇒ 一人一人がお互いに学び合う
- 2. 自己肯定感の育成 ⇒ 自分も人もかけがえのない存在
- 3. 家庭学習の習慣化 ⇒ 学校で学習したことを身につける

**ご家庭でのご協力もよろしくお願いします。**